

2025年度 春季審判講習会

2025年4月26日

麻生区ジュニアサッカー連盟
審判部

本日の流れ

テーマ

「競技規則適用方法の確認」

～2025年度公式戦担当へ向けて～

- 1 はじめに
- 2 競技規則適用方法の確認
- 3 審判報告書
- 4 キックオフまでの手続き

1 はじめに

はじめに

あなたは、サッカーの審判員とどう向き合っていますか？

- ✓ お子さんのサッカー活動のお手伝いとして仕方なく？
 - ✓ とりあえず資格を取ったけど、実践はこれから？
 - ✓ 試合は何とかこなしているが、正直自信はない？
 - ✓ 笛を吹くのは怖いから、何事もなく試合が終わることを願う？
- ⇒ 気にしないでOKです。だいたい、みんな一緒です（笑）

はじめに

サッカーをする子どもたちに、期待していることは何ですか？

- ✓ 普段の練習の成果を試合で実践すること？
 - ✓ 試合を通じて選手として成長すること？
 - ✓ サッカーに全力を尽くし、1点をもぎ取って試合に勝つこと？
 - ✓ 勝つ喜び、負ける悔しさなど、多くを感じ、体験すること？
- ⇒ これこそみんな同じ想いですね！
自分の子も、他人の子も、みんなを応援しているはず

はじめに

子どもたちの試合が、残念な審判員のジャッジに壊されたら？

- ✓ スローインのジャッジが逆だったら？
 - ✓ 突破を手で掴まれ倒されたのに、ファウルにならなかったら？
 - ✓ 明らかなオフサイドなのに旗が上がらなかったら？
- ⇒ 子どもたちの意識は審判のジャッジに集中するでしょう。
- ⇒ サッカーに集中できず、将来ある子供たちの成長が妨げられることになるでしょう。
- ⇒ 育成年代の彼らにこそ、サッカーに集中できる環境
= 適切なジャッジのできる審判員 が必要なのです！

審判員の定義

競技規則および「サッカー競技の精神」に従って

- ・ その能力の最大を尽くして
- ・ 競技規則の枠組の範囲で与えられた裁量権をもって決定する存在

4 種のコーチングに置き換えると・・・

勝利を目指して全力を尽くす選手たちに対して

- ✓ 選手たちが最大限にサッカーに集中し
- ✓ 選手たちが競技規則を主体的に守ってプレーするよう促す存在

審判員の定義

そのような存在となるためには、競技規則の理解・適用・浸透の3つのステップが重要。

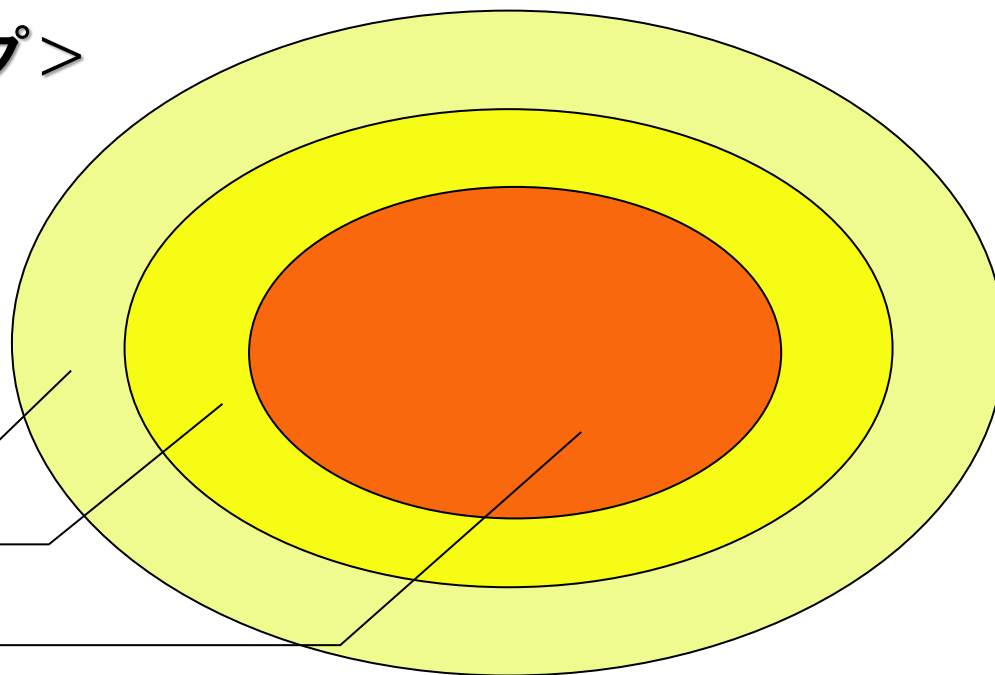
**<求められる存在となるために必要な
サッカー審判員の3つのステップ>**

競技規則の・・・

理解

適用

浸透



審判員の定義

そのような存在となるためには、競技規則の理解・適用・浸透の3つのステップが重要。

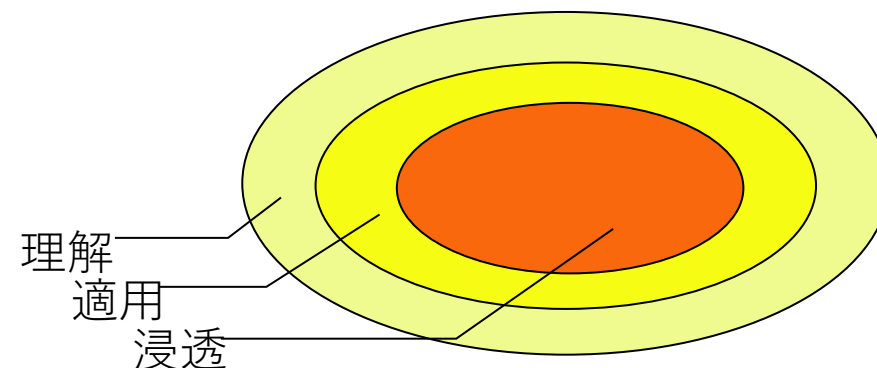
<サッカー審判員の3つのステップ>

理解：競技規則を、その理念や背景も含め正しく理解すること。

適用：目の前の事象に規則をスピーディかつ正しく適用すること。

浸透：毅然とした態度、明確なシグナルで、競技者にルールを浸透させること。

まずは理解を。
そこから適用を。そして、浸透を。



2 競技規則適用方法の確認

競技規則と適用方法の確認 ～教科書編～

- (1) スローイン・ゴールキック・コーナーキック
- (2) 得点
- (3) 負傷
- (4) オフサイド
- (5) ファウル
- (6) フリーキック

(1) スローイン・ゴールキック・コーナーキック

(よくある出来事)

- ・ファウルスロー
- ・ゴールキックからのインプレー判断ミス

【解説】

○スローインのルール

- ・競技のフィールドに面して立つ
- ・足の一部が、タッチライン上または外のグラウンドについている
- ・ボールがフィールドを出た地点から、**両手でボールを頭の後方から頭上を通す**

○ゴールキックの進め方

- ・ボールは、静止していなければならない、ゴールエリア内の任意の地点から
- ・ボールは、**けられて明らかに動いた** ときにインプレーとなる
- ・相手競技者はボールがインプレーになるまでペナルティーエリアの外にいる

(2) 得点

(重要なポイント)

- ・ゴールラインを完全に割ったかどうか
- ・ゴールの前にファウルがあったかどうか

【解説】

○ゴールラインの確認

- ・副審のスプリントが重要！ ➡ 動画チェック

○ゴールの前にファウル・オフサイド等があった場合

- ・副審は主審と目を合わせ、ゴールを認めるかどうかの確認をする
- ・ファウル・オフサイドが明確な場合は旗をあげて主審に知らせる
- ・オフサイドポジションの選手がいたが、オフサイドの成立が不安な場合は、

**旗をあげて主審に知らせたうえで、主審を呼んで成立したか否かを議論する
※時間はいくらかかってもよい。落ち着いて判定を決めましょう。**

(3) 負傷

(重要なポイント)

- ・ 重傷かどうかの判断は主審！対応は迅速に
- ・ プレーできるかできないかの判断は選手・スタッフ(主審ではない)

【手順】

- 重傷か軽傷かを判断
- 重傷⇒プレーを停止してフィールドから退出させる
軽傷⇒ **アウトオブプレーまでプレーを続ける**
- 軽傷時（アウトオブプレーになったら選手のところへ）
 - ① プレーを続けられるかを聞く
 - ② すぐに復帰が不可能であれば、**時計を止め、チーム役員の入場を許可する**
 - ③ フィールドの外へ退出させる **※警告・退場時の負傷はこの限りではない。**
 - ④ プレーの再開後、主審の合図を受けてから復帰する

(4) オフサイド

(重要なポイント)

- ・ 成立の判断は焦らない (一呼吸置いて！)
- ・ オフサイドの可能性がある場合は主審に知らせる (ディレイでOK!)

【解説】

○成立の判断は焦らない

- ・ オフサイドポジションの選手がボールに触れない可能性を常に考える (追いかけるのをやめる、2列目からの飛び出し)

オフサイドは、瞬時の見極めは必要だが、適用は後でも十分間に合う！

○オフサイドの可能性がある場合 (特にゴール時)

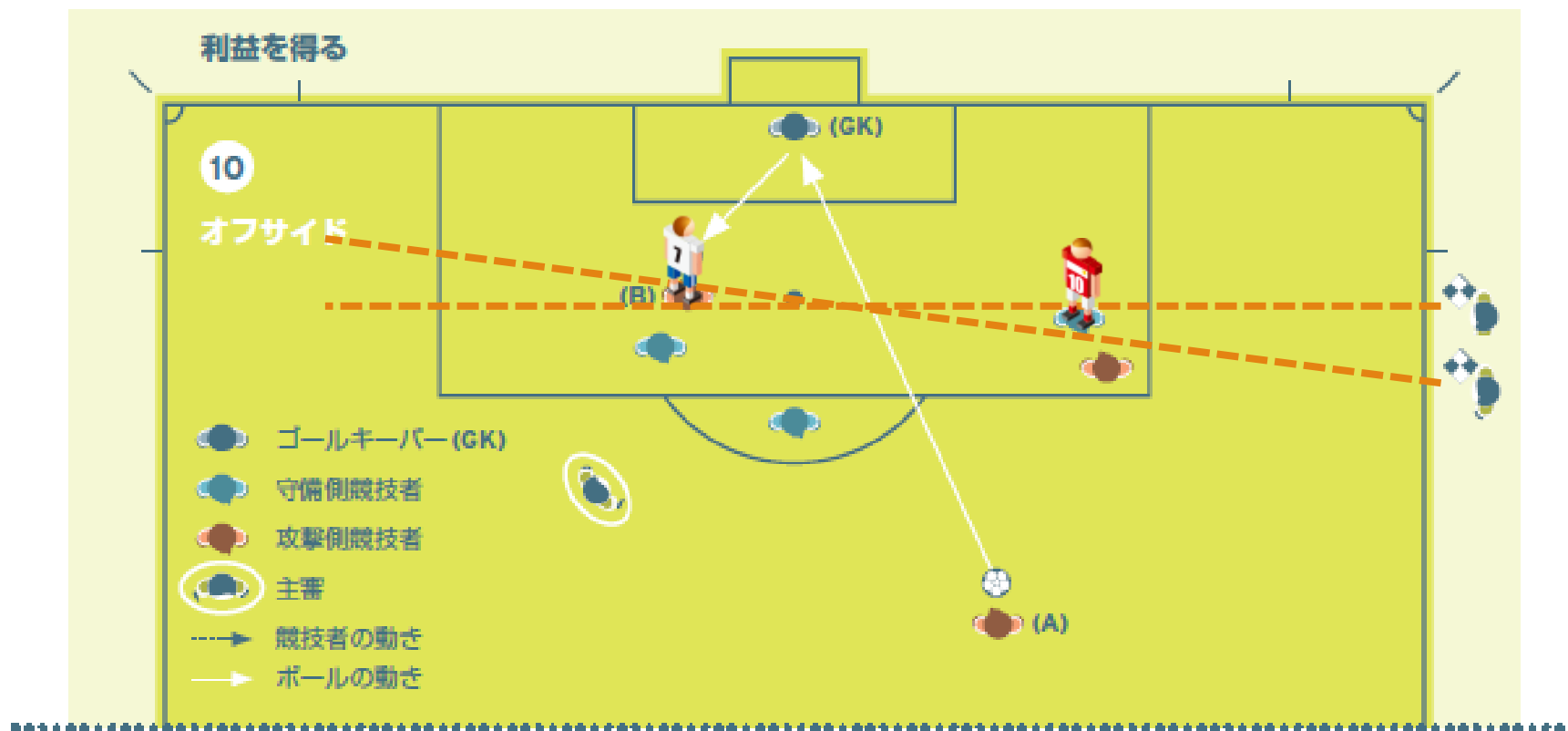
- ・ オフサイドポジションに選手がいる
- ・ ゴールが決まったが、その選手が関わっている可能性がある (副審からはそこまでの見極めはできない)

ゴールラインに留まったまま、主審を呼んで確認する。時間をかけてよい！

(4) オフサイドラインキープの重要性

審判のポジションがオフサイドラインから外れる（遅れる）ことで、競技者の前後関係の「観え方」が変わる。

【図解】



(5) ファウル

(重要なポイント)

- ・ 程度があるものとないものがある
- ・ 「起こりそうだな？」と想定して、タイミングを逃さず吹くこと

【解説】

<程度による判定>

- ✓ チャージする
- ✓ 飛びかかる
- ✓ ける、またはけろうとする
- ✓ 押す
- ✓ 打つ、または、打とうとする（頭突きを含む）
- ✓ タックルする、または、挑む
- ✓ つまずかせる、または、つまずかせようとする

→ 程度： **不用意に、無謀に、または過剰な力で**

<程度によらない判定>

- ✓ ハンドの反則
- ✓ 相手競技者を押さえる
- ✓ 身体的接触で相手競技者を妨げる
- ✓ 人をかむ、つばを吐く
- ✓ 物を投げる、物をボールに当てる

→ **ハンドの反則は正しく見極めを！**

(5) ファウル

(重要なポイント)

- ・ 程度があるものとないものがある
- ・ 「起こりそうだな？」と想定して、タイミングを逃さず吹くこと

【解説】 程度の判断について

○不用意とは・・・

注意や配慮の欠如、慎重さを欠いてプレー ⇒懲戒罰なし

○無謀とは・・・

危険にさらされていることを無視、結果的に危険となるプレー ⇒警告

○過剰な力とは・・・

必要以上の力を用いて危険にさらすプレー ⇒退場

→ 「起こらないでくれ！」ではファウルは取れない
「起こりそうだな？・・・ほらやった！」と想定して、タイミングを逃さず吹くこと

(5) ファウル

(重要なポイント)

- ・ 程度があるものとないものがある
- ・ 「起こりそうだな？」と想定して、タイミングを逃さず吹くこと

【解説】 ハンドの反則について

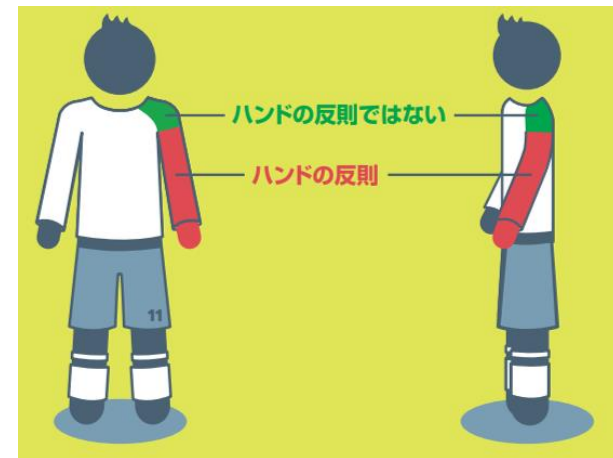
○状況による判定

- ・ 手や腕を用いて意図的にボールに触れる = 大原則
- ・ 偶発的であっても、

直接得点する、触れた直後にシュートして得点する

○身体的な判定

- ・ 手や腕を用いて、**不自然に体を大きくした**



~~✓競技者の手や腕が肩の位置以上の高さにある場合はファウル。ただし、~~~~✓競技者自身・近くに別の競技者の頭または体から直接触れる~~~~✓手や腕を用いて体を不自然に大きくしていない~~~~✓競技者が倒れ体を支えるために手や腕が体と地面の間にある~~場合はノーファウル。

(6) フリーキック

(確認事項)

- ・ペナルティキックの進め方
- ・決定的な得点の機会の阻止 (DOGSO)

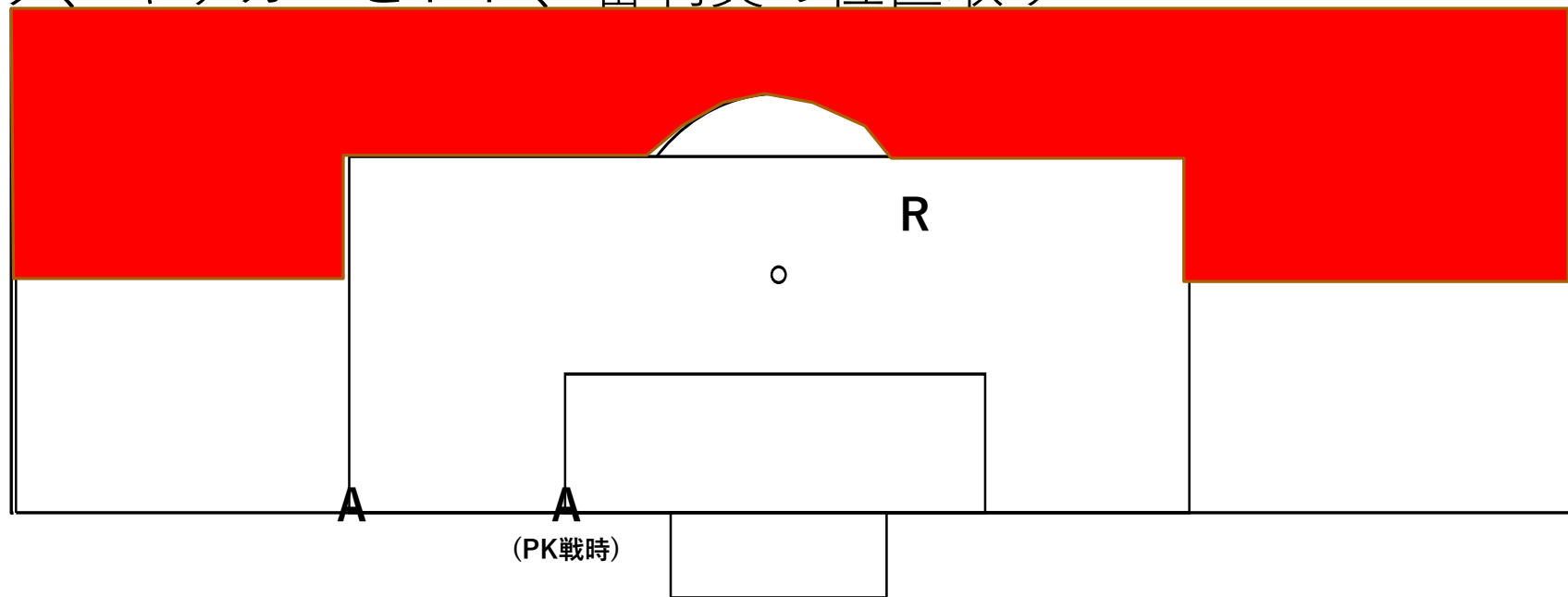
【解説】

○試合中のペナルティキック、キッカーとF P、審判員の位置取り

- ✓ペナルティマークから7m
- ✓ペナルティマークの後方
- ✓フィールドの中
- ✓ペナルティエリアの外

✓ゴールキーパーは、
ボールが蹴られて動くまで

ゴールライン上！
(片足でもOK、上空でもOK)



(6) フリーキック

(確認事項)

- ・ペナルティキックの進め方
- ・決定的な得点の機会の阻止 (DOGSO)

【解説】

○決定的な得点の機会の阻止を見極める基準

- ・反則とゴールとの距離（が近いか）
- ・全体的なプレーの方向（が直接的にゴールに向かっているか）
- ・ボールをキープできる、またはコントロールできる可能性（があるか）
- ・守備側競技者の位置と数（がカバー不可能な状況か）

**ゴールキーパーと1対1になっている状況下で起こったファウルは、
決定的な得点の機会の阻止に該当する可能性が高い！
カードを出す勇気を持ちましょう！**

競技規則と適用方法の確認 ～動画編～

(1) リスタート (スローイン、G K、P K、ドロップボール)

(2) ファウルと不正行為

(3) オフサイド

(4) 懲戒罰

(5) ハンド

各項目 5 分

(6) 2025 J リーグレフェリングスタンダード

1 0 分

※すべての動画はJFA競技規則WEB版より使用しています

3 審判報告書

審判報告書

審判報告書

←正式名称で！

競技会名

試合時間 分 延長戦 分 会場

対戦 A 対 B

結果 : (:) (:) 延長 (:) (:)

日時 年 月 日 時 分 キックオフ

主審 所属

第4の審判員 所属

副審 所属

所属

←ない場合は
×で空白を埋める！

↑実キックオフ時刻を記載！

競技場、用具の状態

←基本は「競技場、用具、共に良好」

警告(競技者・交代要員)

	時間	チーム	番号	氏名	理由 ※()内に[反/ラ/異/線/遅/距/入/去]を記入し、具体的事由を記入
1					()
2					()
3					()
4					()
5					()
6					()
7					()
8					()

審判報告書

退場(競技者・交代要員) (詳細は重要事項報告書に記入し提出する。但し警告2についてはこの報告書のみでよい。)

	時間	チーム	番号	氏名	理由 ※不正、乱暴、つば、阻止(手)、阻止(他)、暴言、警告2
1					
2					
3					

警告・退場(チーム役員)

	警・退	時間	チーム	役職	氏名	理由 (警告)※反、異、遅、を記入し、具体的事由を記入 (退場)※乱暴、つば、暴言、警告2、詳細は重要事項に記入
1						
2						←チーム役員への懲戒罰を記載
3						

その他の報告事項

以上の通り報告いたします。 年 月 日 主審署名

サッカー協会会長殿

4 キックオフまでの手続き

試合の手続き

- (1) レギュレーションの確認
- (2) 大会本部に挨拶と審判員証提示
- (3) フィールドチェック
- (4) メンバーチェック
- (5) レフェリーミーティング

(1) レギュレーションの確認

あらかじめ確認しておくべき項目は多い

- ✓ 競技人数、ベンチ人数、試合成立人数
- ✓ 競技時間、同点時の対応（引き分け、PK、延長戦）
- ✓ ベンチ入りのスタッフ（人数、D級ライセンス）
- ✓ 指定時間（メンバー表、チェック、審判団）
- ✓ 適用競技規則

各大会の要項を確認しましょう

◆ 齋藤旗 ◆ U12リーグ ◆ 春季低学年 ◆ かわしん杯

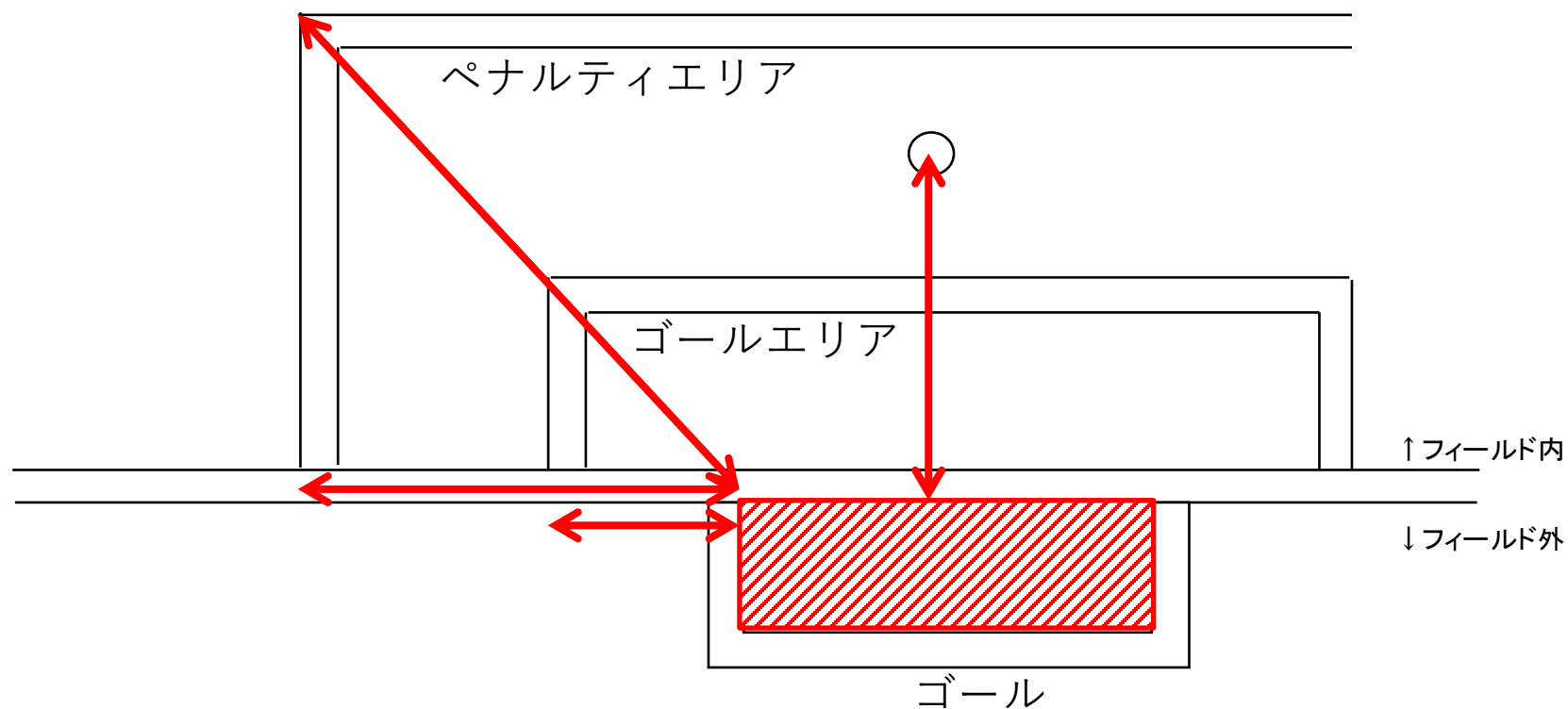
(2) 大会本部への挨拶と審判証提示

- ✓ 審判登録証はアプリで用意しておくとは便利。(JFAIDが必要。)
- ✓ 本部では、改めてレギュレーションの確認をしておくとは安心。



(3) フィールドチェック

✓エリアの大きさ・角度 ✓ペナルティマーク ✓ゴールネット
※ラインはエリアの一部。距離はゴールポストの内側から図る。

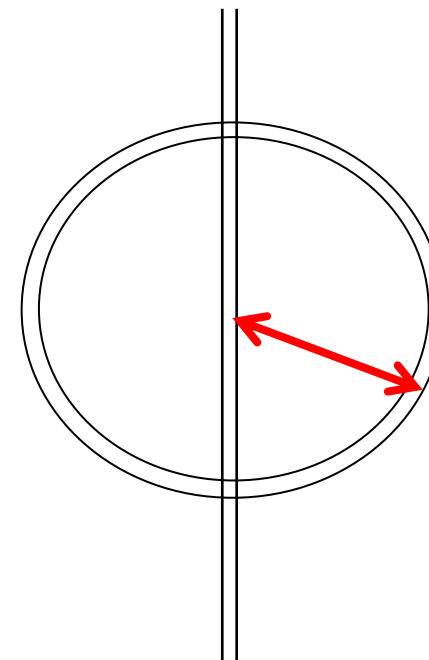
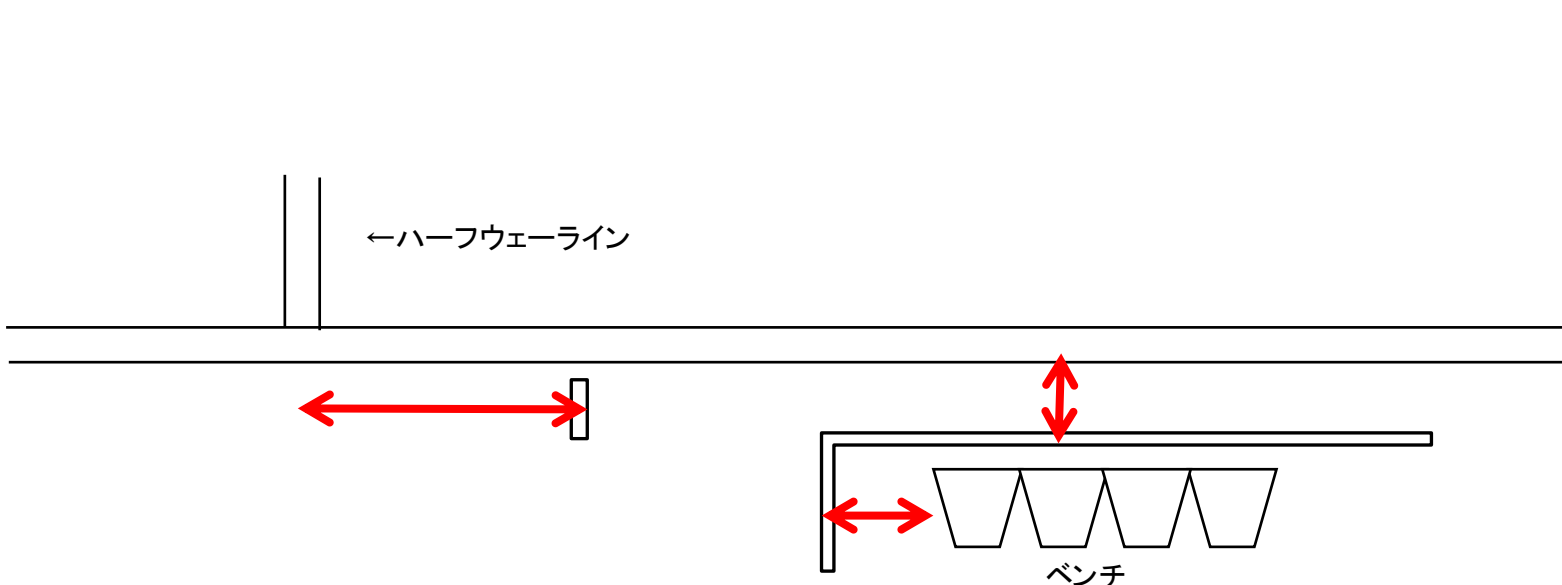


(3) フィールドチェック

✓交代エリア ✓テクニカルエリア

✓センターサークル

※ラインはエリアの一部



※ペナルティアーク、フリーキックの壁
も同じ距離！

(4) メンバーチェック

- ✓ 背中を向けて並ばせる
- ✓ 番号を読み上げて名前を言わせる
- ✓ すねあて・靴の裏・装着品の確認
- ※ユニフォームの色に問題がないかは主審が決定

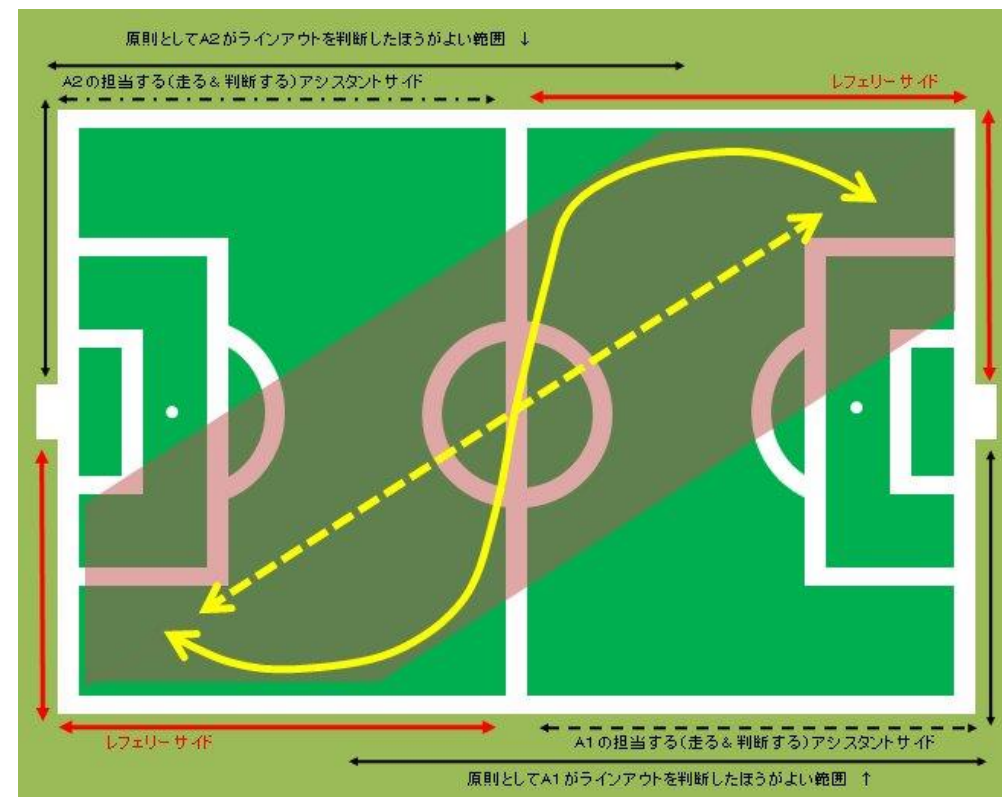


(5) レフェリーミーティング

- ✓ 役割分担を明確にする
- ✓ アイコンタクトの徹底が重要

- ・ スローイン (手→R、足→A)
- ・ ファウル (アシスタントサイド、PA内)
- ・ オフサイド (気づかない時、不採用時)
- ・ 得点 (微妙な得点時)
- ・ フリーキック (ポジショニング)
- ・ アイコンタクトの徹底

※入場時の10秒を逃さない！



麻生区ジュニアサッカー連盟審判部

< 審判部 >

審判部長 田中

審判部メンバー 6 名

< レフェリーサポーター >

麻生区各チームより 10 名程度

< 主な活動内容 >

審判講習会（春・秋）

市大会地区予選（アドバイザー、上位戦割当）

トレセン大会審判派遣



麻生区レフェリーサポーター制度について

一緒に、レフェリー、やろう！

麻生区では、主催大会を数多く実施しています。子どもたちの熱い戦いをサポートし、成長を支える黒子となるのがレフェリーです。

ぜひ私たちと一緒に、麻生区のジュニアサッカーを盛り上げませんか！

<募集概要>

- 主管 : 麻生区ジュニアサッカー連盟（以下「連盟」） 審判部
- 活動内容 : 連盟主催試合・トレセン試合の審判対応、審判講習会補助 等
- 参加要件 : 連盟所属チーム関係者（コーチ、父母、選手、OB）であり、
所属チームの了承のもとで活動を許される方。
サッカー審判員資格を保有している方。（今後取得を検討されている方も応相談）
- 応募方法 : 連盟審判部 田中までメールにて応募ください becks.hajime@gmail.com

ご清聴、ありがとうございました！



麻生区ジュニアサッカー連盟
審判部 田中

ルールに関するご質問等お気軽にお問い合わせください
becks.hajime@gmail.com